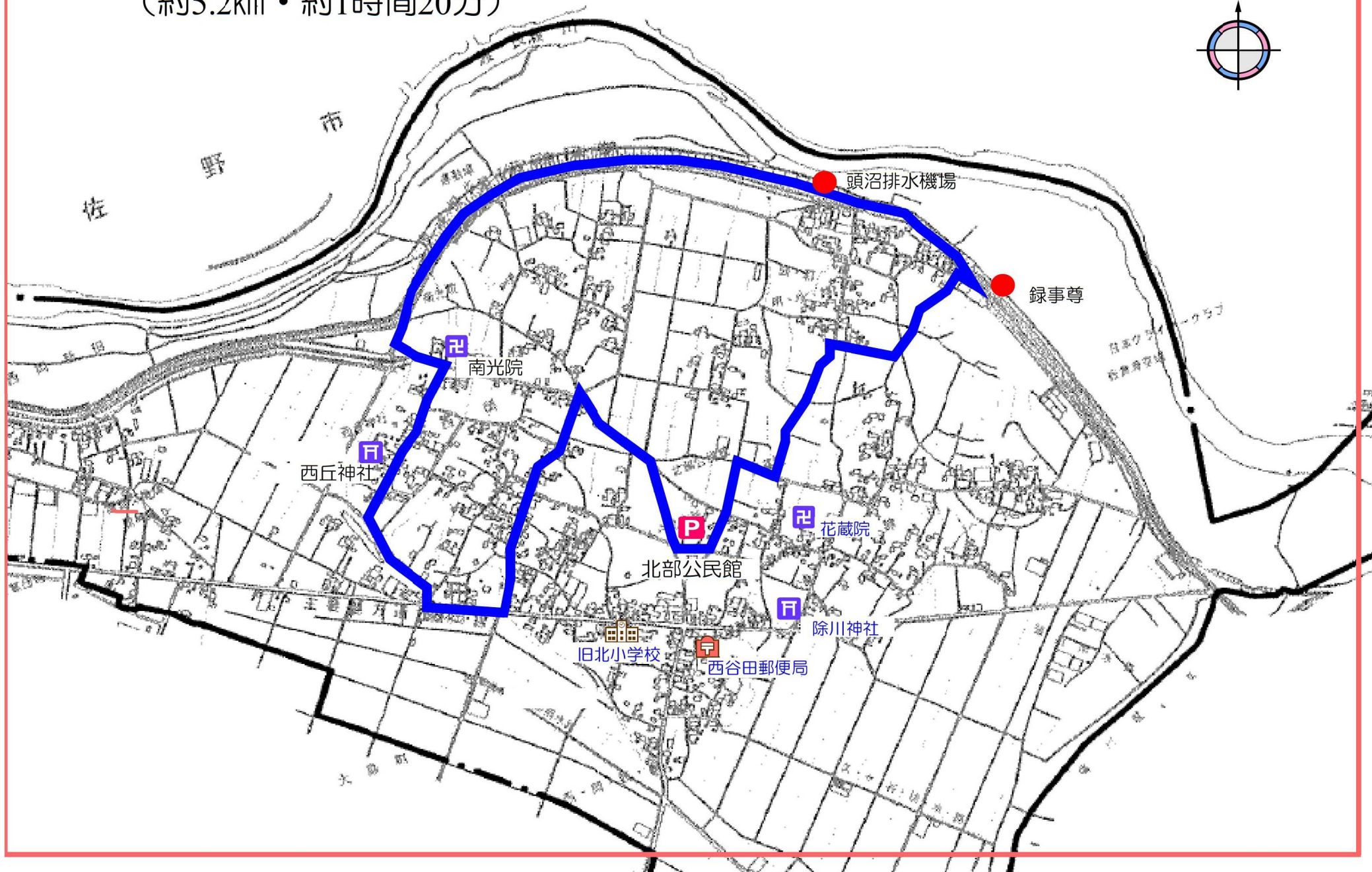
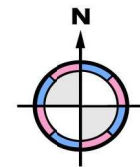


景観ウォーキングマップ (北部公民館出発)


(約5.2km・約1時間20分)





北部公民館

板倉町大字西岡485-2

 0276-77-1855



南光院

寛永初期(1624)頃の開基と伝えられます。昔は下野国安蘇郡領に属しており、親寺は栃木県岩舟町の高平寺、本山は栃木県足利市の鶏足寺でした。昭和15年宗制の改正により長谷寺の檀末となります。



録事尊

渡良瀬川の右岸法面に建っています。古文書の堤普請の記録に、「録事尊」あるいは「録事尊前」といった地名を認めます。録事尊の石塔は、明治31年の決壊により流されてしまいましたが、堤防の改修工事で基盤が発見され、ほぼ元の位置に昭和33年2月20日に立て直したものです。この地域では、旧2月20日（現在は3月の最終日曜日）にお祀りをしています。仏教の影響を受け水を司る録事尊信仰であり、決壊の著しかった地に建立されたと考えられます。



西丘神社

天慶7年(944)3月藤原秀郷の勧請と伝えられ、延宝4年(1676)3月館林宰相徳川綱吉が社殿を再建するため、赤城塚古墳の墳丘を削土したら石室より、三角縁仏獣鏡が出土されました、県指定重要文化財です。



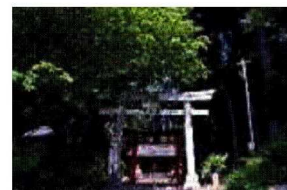
頭沼排水機場

仲伊谷田承水溝より頭沼用水路を經由して、渡良瀬川に機械排水します。渡良瀬川唯一の揚水機場で、昭和39年に設置されました。



花蔵院

慶長年間の開基の後、慶安2年(1649)に漁師が渡良瀬川より引き上げた観音像を翌年寺へ納め観音堂を建立、同年寺格を得て花蔵院と改めました。



除川神社

明治41年6月菅原神社・浅間神社・鷲宮神社・八幡宮・大山祇神社・神明宮・巖島神社を赤城神社に合祀して「除川神社」に改名されました。